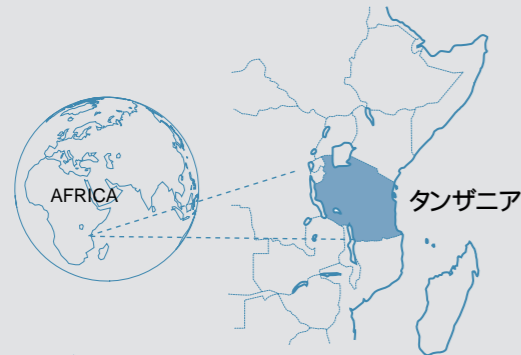


from Tanzania



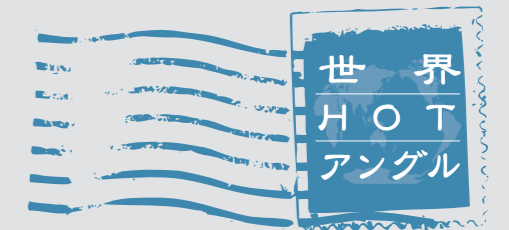
Hot Angle

Country | Tanzania

文・写真 = 谷口 和真 (JICA専門家)

統計は国家政策の 舵を取る羅針盤

国家の政策策定に不可欠な統計が未整備のタンザニア。国の舵取りともいえる統計データベースの構築と運用を支援するJICAのプロジェクトが今年2月に終了した。



TISD公式オープニングの様子が掲載された地元の新聞。多くのメディアが詰めかけ、新聞以外にもテレビやラジオなどで大々的に紹介された

統計は政策の礎

日本では、少子高齢化問題に対し、高齢者の医療費自己負担の増額や社会福祉制度の充実、また税負担の軽減などによる子育て支援の政策が打たれている。こうした政策策定は、人口統計をはじめとするさまざまな統計が整備されているからこそ可能であり、国家の政策に欠かせない礎となっている。国を船に見立てたとき、統計が「羅針盤」と称されるゆえんだ。



政策策定のための統計利用・分析研修で講師をする国家統計局のカルゲンドさん

が急がれている。しかし、タンザニアのように大人より子どもが多い人口構造は、例えば医療面が改善され、子どもの健康が安定しても、学校の不足といった別の問題が表面化する。教師の育成など先回りして解決すべきことがたくさんあるが、統計がなければ将来を見据えた政策を策定するのは難しい。

そうした状況を踏まえ、JICAは、2004年から国家統計局のデータ提供能力を強化する技術協力プロジェクト「国家統計局データ提供能力強化計画」を実施。統計データを格納する集中統計データベース(TISD)の構築と運用、統計図書館の設立と運営、統計を分析する能力の醸成、の3本柱で活動を行い、今年2月に終了を迎えた。



タンザニア国家統計局の外観。メインの建物は文化財の指定を受けたドイツ統治時代の建築物

データベースを公開

プロジェクトでは、大友篤チーフアドバイザーを中心として統計図書館を開設、ウェブサイトも立ち上げた。また、多くの統計専門家で作成した政策策定のための統計利用・分析手法のマニュアルをもとに、国家統計局の職員や各省庁の統計官に研修を行い、統計を利用した的確な国の舵取りの促進を支援した。

プロジェクトでは、大友篤チーフアドバイザーを中心として統計図書館を開設、ウェブサイトも立ち上げた。また、多くの統計専門家で作成した政策策定のための統計利用・分析手法のマニュアルをもとに、国家統計局の職員や各省庁の統計官に研修を行い、統計を利用した的確な国の舵取りの促進を支援した。



統計図書館で集中統計データベースを利用するユーザー。データベースは国家統計局内のLANからアクセスできるほか、図書館の端末を通して一般にも公開されている

出た過去の統計調査データを用いてチャートを作るコンテストを実施するなど、統計により慣れ親しんでもらう施策も打ち出し、国家統計局を盛り立てた。



政策策定のための統計利用・分析の研修用マニュアル。基礎研修の修了者の要望を受けて完成した。研修は人口統計、社会経済統計をそれぞれ1週間ずつ集中的に行う2部構成

統計からつくられた一つの政策が実を結び、社会に反映されていく

そうした最終的な成果を見られるまでは、10年、20年、もしくはもっと長い時間が必要かもしれない。プロジェクトでは、そのまだ来ぬ明るい未来を思い描きながら、3年間の活動を続けた。国家統計局は、スタート地点に立ったにすぎないが、これからの長い道のりをしつかり歩んでくれると信じている。今後のタンザニアの成長が楽しみだ。

Tanzania Integrated Statistical Database Online
プロジェクトの詳細はホームページ <http://projec.tica.go.jp/tanzania/5481093E0/> をご覧ください